

「若者の移住」調査

【 結果レポート 】

2018年3月20日

そうだ、地方で暮らそう！国民会議 配布資料

一般社団法人 移住・交流推進機構（JOIN）

* 本調査は、一般社団法人 移住・交流推進機が
株式会社共同通信社に委託し実施いたしました。

1. 調査概要

【 調査目的 】

人口問題を考える上で、若者の地方への移住は非常に重要な要素である。2014年に「まち・ひと・しごと創生本部」が実施した「東京在住者の今後の移住に関する意向調査」によれば、東京から移住する予定又は移住を検討したいと思っている人は約4割という結果が出た。また同調査では移住を検討するきっかけとして、子育てを挙げる声が女性に多く見られた。一方で移住する上での不安・懸念点として仕事や日常生活を挙げる人が多く、住居環境を挙げる人も目立った。

そこで、

- ・移住先での「子育て」について、どのようなものが求められているか
 - ・「仕事」について、どのぐらいの収入のどのような仕事が望まれているのか
 - ・「住まい」について、どのような住環境が望まれているか、
- について、インターネット調査を行った。

なお人口問題においては、若者の中でも、単身世帯より既婚世帯の意向がより重要と考えられる。そのため今回の調査では、既婚世帯に限定して調査を行った。

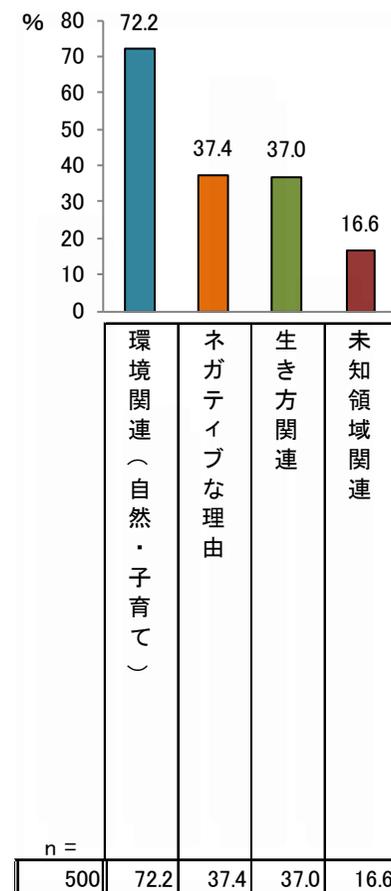
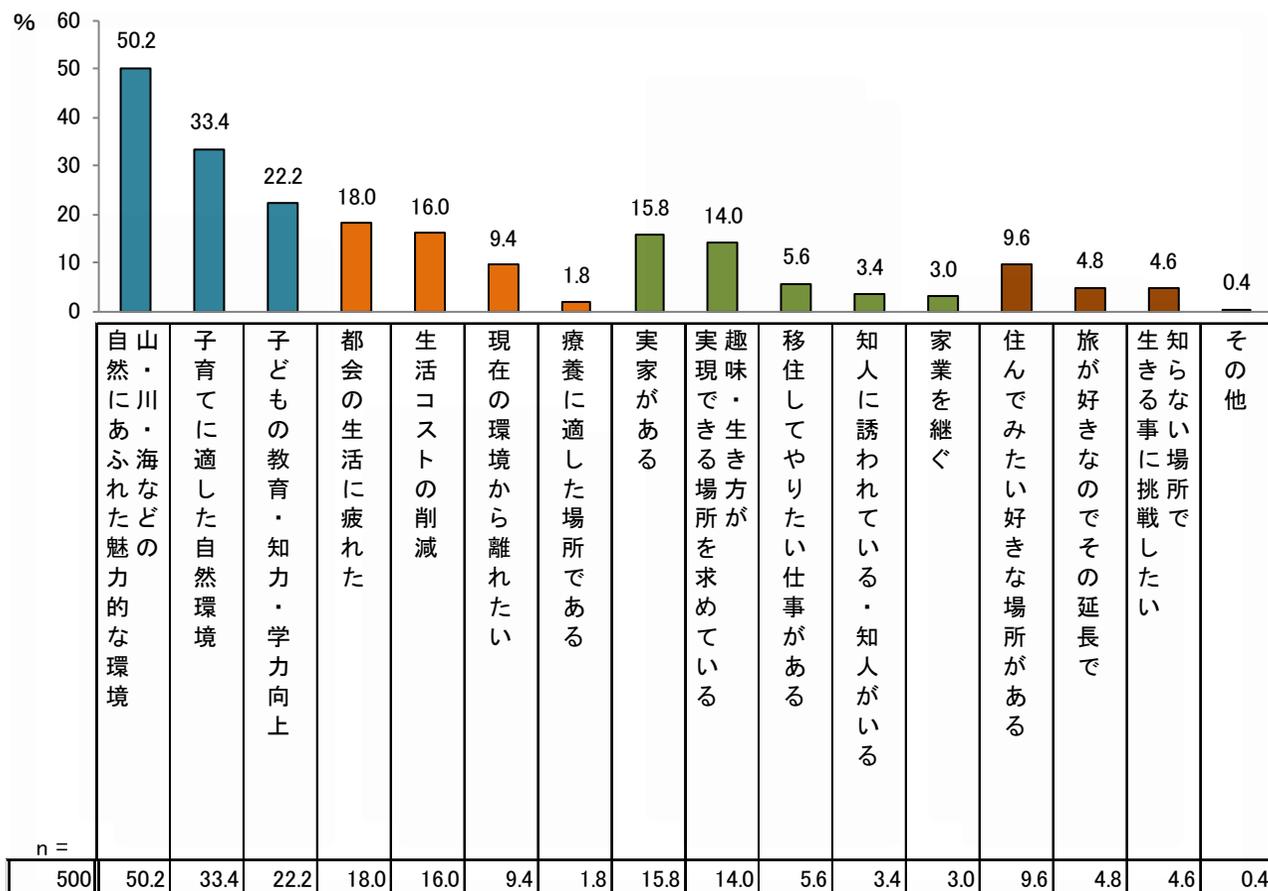
【調査概要】

- ・ 調査方法 ウェブモニターアンケート調査
- ・ 対象地域 東京圏（東京都・埼玉県・神奈川県・千葉県）
- ・ 実施期間 2017年1月12日（木）～17日（火）
- ・ 調査対象者 20代～30代の既婚男女で、地方への移住に興味がある500人

2. 調査結果

【移住に興味がある理由を教えてください（複数選択）】

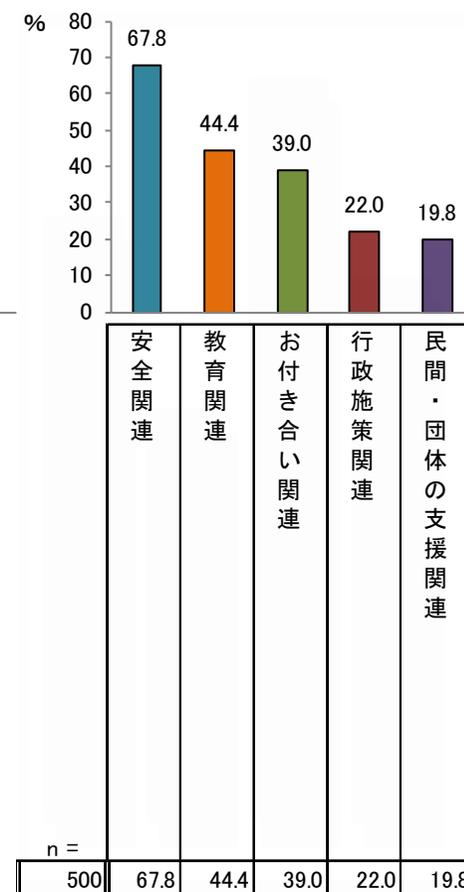
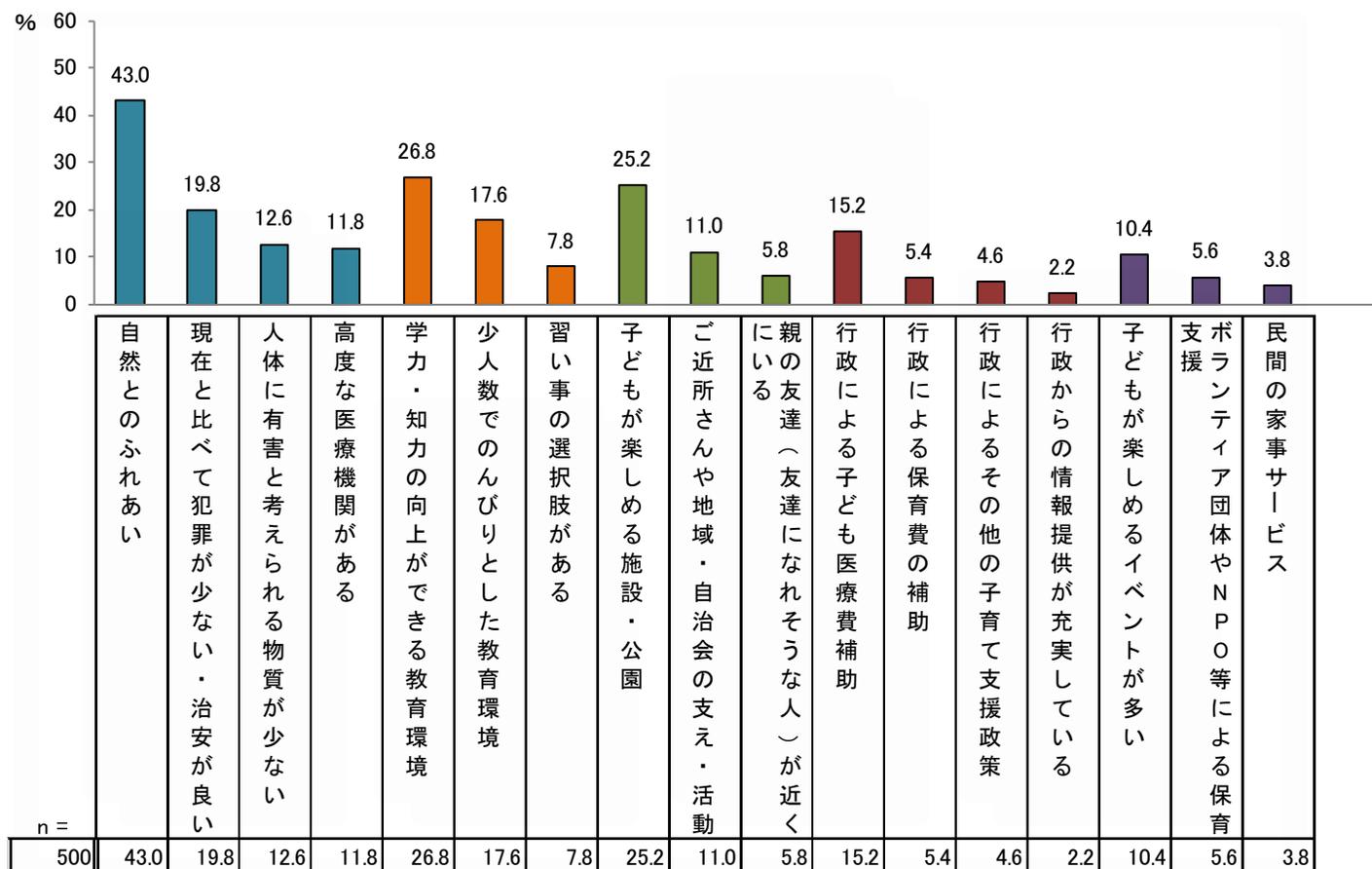
まず、地方への移住に興味を持つのはどのような理由によるものか尋ねたところ、「山・川・海などの自然にあふれた魅力的な環境」（50.2%）、「子育てに適した自然環境」（33.4%）、「子どもの教育・知力・学力向上」（22.2%）といった環境にまつわる選択肢を選んだのが72.2%と全体の7割超に及んだ。「都会の生活に疲れた」などのネガティブな理由を選んだのは37.4%、「実家がある」などの生き方に関連する理由は37.0%だった。



2. 調査結果

【あなたが仮に移住先で子育てををするとして、移住先の子育て環境について、重視する条件を教えてください（複数選択）】

移住先で子育てをする場合どのような条件を重視するか尋ねた。最も多かったのは「自然とのふれあい」で43.0%。その他「現在と比べて犯罪が少ない・治安が良い」など、安全に関する選択肢を選んだ割合が67.8%となり3分の2を超えた。その他多く選択された項目は「学力・知力の向上ができる教育環境」（26.8%）、「子どもが楽しめる施設・公園」（25.2%）となった。



2. 調査結果

【あなたが仮に移住先で子育てををするとして、不安に思う事を自由にお書きください】

●人間関係

いじめられないか不安（東京都 女性 36歳）

その地域にすぐとけこめるのか。またよそ者扱いされるのではなく、迎え入れていただけるのか（埼玉県 女性 37歳）

環境が変わることによって子供が変化についていけるかどうか（埼玉県 女性 26歳）

近所と仲良くできるか、住む地区の祭りや掃除などの役割の負担がどのくらいあるか（東京都 女性 28歳）

現在の友人関係・地域との関係と遠くなってしまうことが寂しい（神奈川県 女性 32歳）

知り合いがないから母と子供だけで孤立してしまう。相談相手がない（神奈川県 女性 28歳）

友達がちゃんとできるか。子どもと同世代の家族がいるか（千葉県 女性 26歳）

トラブル（いじめ）が起きたとき、都会のように、フリースクールやカウンセラーなど、多様な選択肢がない（東京都 男性 33歳）

●教育

学校までの通学の距離と、都市部に比べて学力が下がらないかどうか（埼玉県 女性 39歳）

高校・大学の進学先の選択肢の少なさ・不便さが避けられないと思うこと（東京都 男性 35歳）

子どもたちがのびのびと過ごせる環境が整っているのか（東京都 女性 39歳）

●医療

医療機関が充実しているかが不安。子どもは急に具合が悪くなることが多そうなので（東京都 女性 27歳）

今病院などが近くにあり、選択肢の多い環境にいるため、医療機関が限定されることが不安（神奈川県 女性 32歳）

病院設備や技術力が最新かどうか（千葉県 女性 38歳）

●仕事

収入の減少を不安に思っています（埼玉県 男性 38歳）

就職先が見つかるかどうか（東京都 女性 33歳）

●治安・安全

すごく田舎だと、夜の怖さとか治安が心配（東京都 女性 30歳）

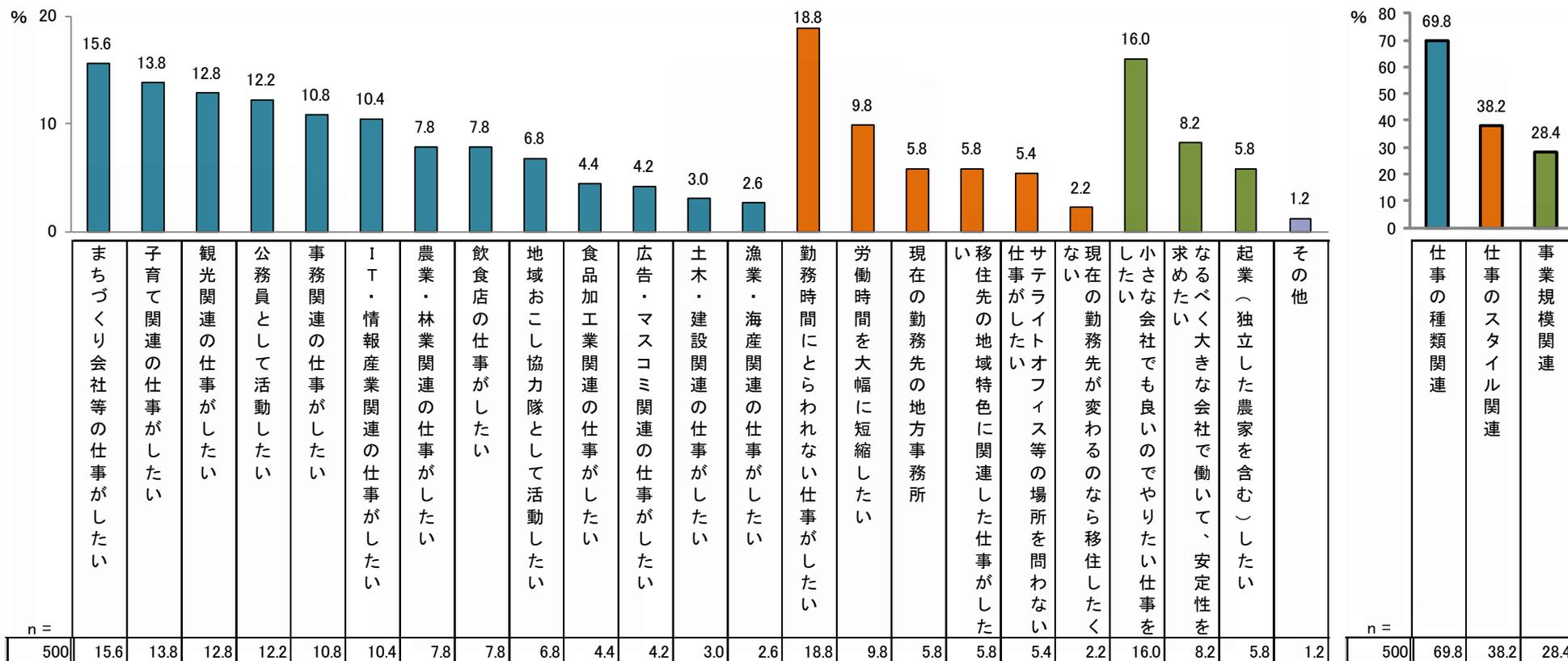
通学路など安全かどうか（神奈川県 女性 30歳）

道路や信号などが整っていないと、特に高齢者が増えている地方では事故が起きないかとても心配です（神奈川県 女性 34歳）

2. 調査結果

【移住に伴い勤務先が変わるとして、重視する仕事の条件を教えてください（複数選択）】

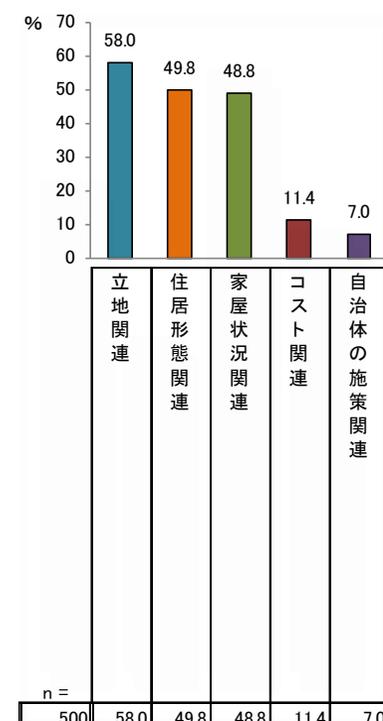
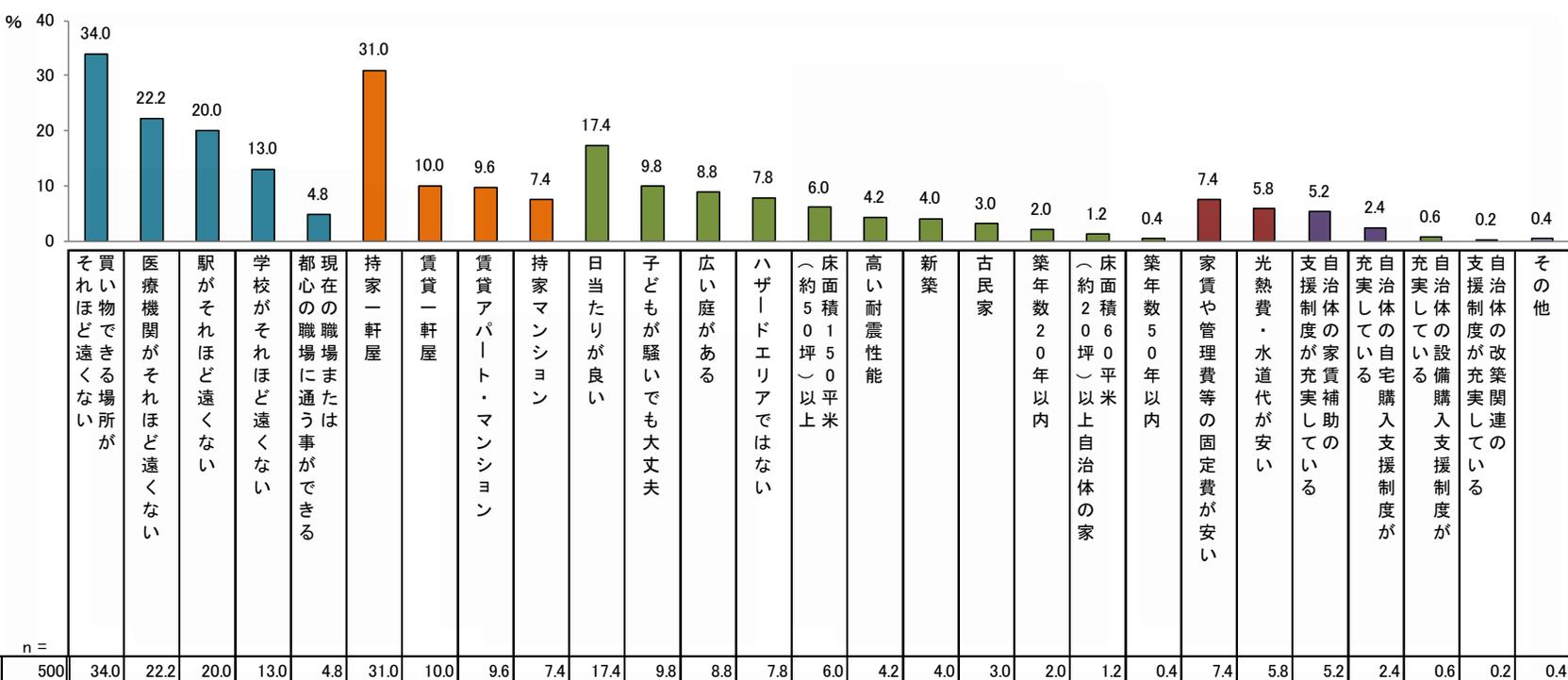
移住先で重視する仕事の条件では、「まちづくり会社等の仕事」「子育て関連の仕事」「観光関連の仕事」など具体的な仕事の種類を選んだ人が多く、ジャンルでは「仕事の種類関連」が最も多かった（69.8%）。また「勤務時間にとらわれない仕事がしたい」（18.8%）、「小さな会社でも良いのでやりたい仕事をしたい」（16.0%）など、理想とする仕事のスタイルや仕事内容を追求する傾向が見られた。



2. 調査結果

【移住先での住宅について優先する条件を教えてください（複数選択）】

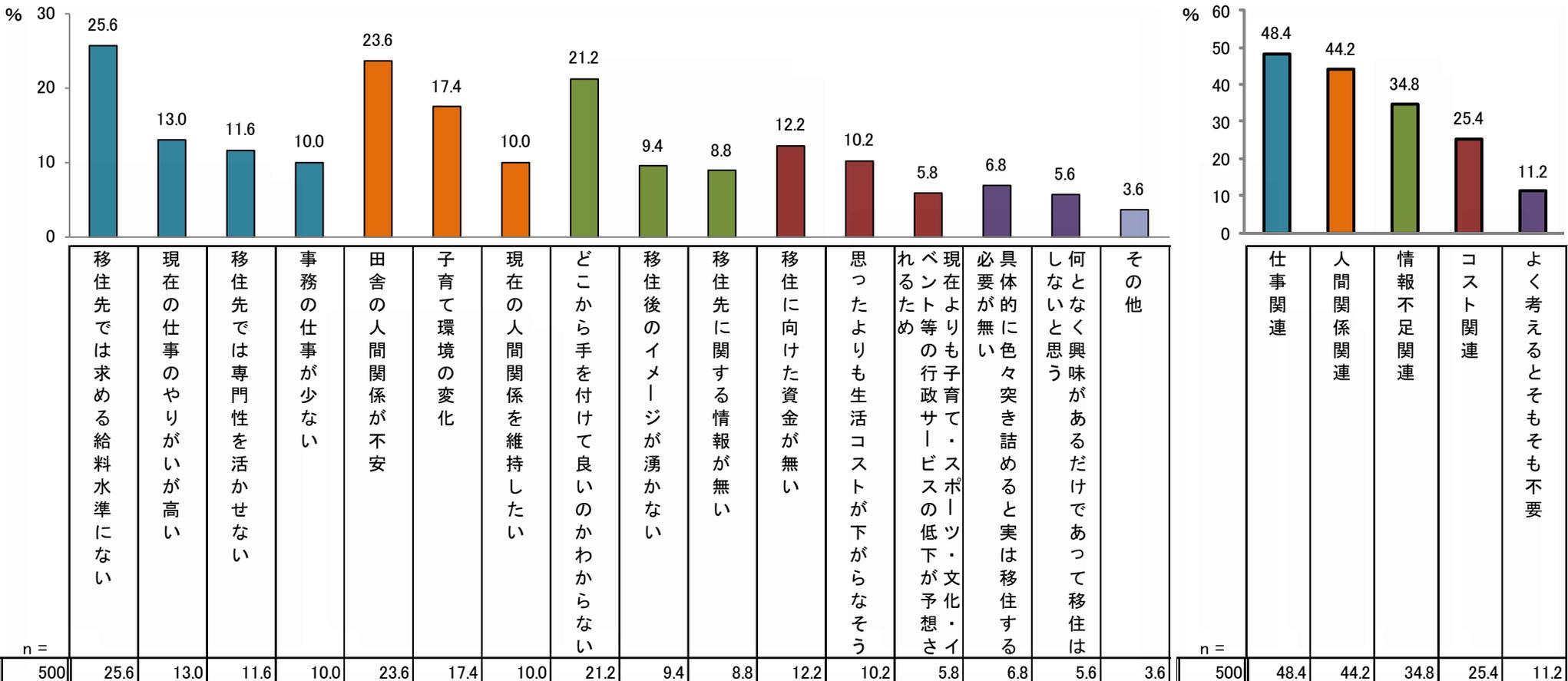
移住先での住まいの条件を尋ねた。買い物できる場所、医療機関、駅、学校への距離など立地に関するカテゴリーを選んだのは58.0%。移住先の生活に対しても便利さを求める傾向が見られた。その他のカテゴリーでは住居の形態に関するものが49.8%、日当たりなど家屋の状況に関するものが48.8%と続いた。



2. 調査結果

【地方への移住を妨げている大きな要因は何ですか（複数選択）】

移住に関心を持ちつつ移住に至らない要因について尋ねたところ「移住先では求める給料水準にない」（25.6%）、「移住先では専門性を活かさない」など仕事関連が48.4%と最も多く、移住後の生活を支える仕事に対して不安を感じていることがわかった。また「田舎の人間関係が不安」（23.6%）といった人間関係関連のカテゴリーも44.2%と多く選択されており、多くの方が移住先のコミュニティとの関わり方に不安を感じていると思われる。

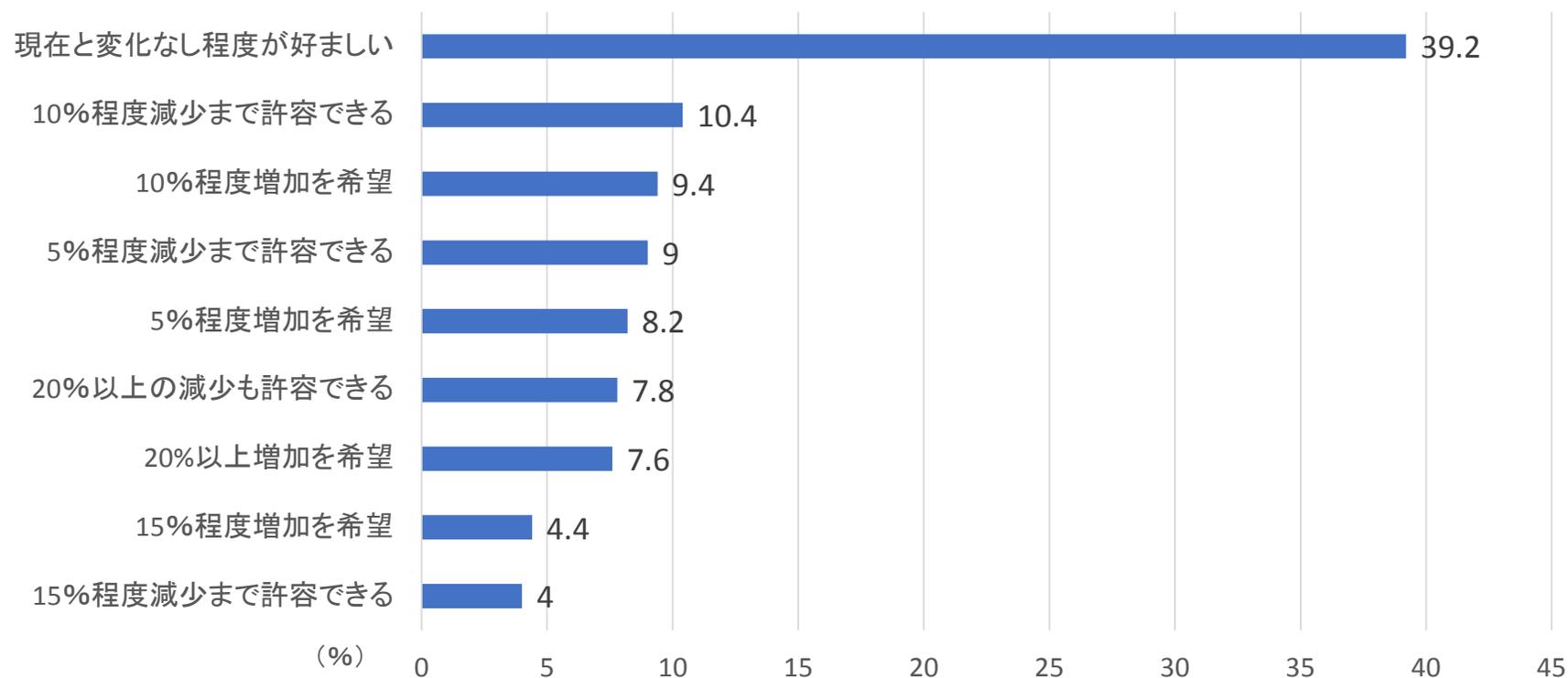


2. 調査結果

【地方移住する事になったとして、あなたの世帯年収の増加の希望範囲／減少の許容範囲をお教えてください】

地方に移住した場合の世帯年収について尋ねた。「現在と変化なし程度が好ましい」が最も多く39.2%を占めた。「10%程減少まで許容できる」が10.4%、「10%程増加を希望」が9.4%と続き、多くは大きな変動が無い状態を希望している。

世帯年収によるクロス集計によると、どの層も「変化なしが好ましい」との答えが最も多かったが、続く回答として500万円未満の層では「10%程増加を希望」「20%以上増加を希望」といった収入増を希望する傾向が強い。反対に500万円～700万円未満の層では「5%程減少まで許容できる」、700万円以上の層では「10%程減少まで許容できる」など減少を許容する回答が多かった。



2. 調査結果

【政府や自治体などが人口問題を解決するために予算を付けて地方への移住政策を推進していますが、あなたが地方へ移住する事を考えるにあたりどのような制度があると良いと思いますか（複数選択）】

移住を希望する人たちが移住先で望む制度について尋ねた。「引っ越し費用（敷金礼金含む）の補助」と「自宅購入費用の補助」がいずれも24.2%を占め、その他「一定期間の家賃補助」が22.8%で続く。移住に伴う支出の中で多くを占める住宅に関連する補助を挙げたのが75.4%と全体の4分の3以上であることから、自治体は住宅に関する支援制度を充実させることにより、移住希望者の関心が高まると思われる。

